

● 長時間の “津波注意報” なぜ？

南アメリカ大陸の沿岸国チリの北部沖合でマグニチュード8.2の巨大地震が発生した。また、この地震に伴って起こった津波は距離にして1万5000キロメートル以上離れた日本への到来が予想され、北海道から小笠原諸島といった関東にかけて津波注意報が発令された。実際、岩手県の久慈港で観測された高さ60センチメートルの津波をはじめとして、日本各地で津波が観測されている。



● 調査捕鯨 “認めない” その理由は？

オランダのハーグにある国際司法裁判所で「南極海における日本の今のやり方での調査捕鯨は認められない」という旨の判決が言い渡された。日本政府は、国際法秩序や法の支配を重視するという観点からこの判決に従うとしている。そもそも日本が調査捕鯨を始めたきっかけは1982年のIWC（国際捕鯨委員会）の決議であり、当時の日本政府は、アメリカからの圧力（IWCの決議を受け入れなければ、アメリカの排他的経済水域での漁業を認めない）もあって決議を受け入れた。またここ数年日本は反捕鯨団体であるシーシェパードの妨害行為に幾度もあっている。



● 手塚治虫の机の中は？

漫画家、故手塚治虫氏が使っていた作業机の引き出しから遺稿の原稿が発見された。

● 消費税率 8 % に

4月からの消費増税(5%から8%)によって、消費者や企業に大きな影響が出ており、景気の減速が懸念されている。そのため政府は総額5兆5000億円規模の経済対策を実施するとしている。

● 原子力発電事故の避難指示 初の解除

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、その周辺地区の8万人余りに対して避難指示が出されていたが、4月1日、その避難指示のうちの一部が解除された。仮設住宅から自宅に戻る人もいれば、放射線への不安から自宅に戻らない人もいる。

● “小保方氏が研究不正行為”

STAP細胞をめぐる問題で、理化学研究所は小保方晴子氏が論文でデータのねつ造と改ざんの2つの不正を行ったとする調査結果を発表した。これに対して小保方氏は理化学研究所の発表への不服の意を表明している。